

【別紙 1】

「やぶ市民交流広場 YB ファブ」ロゴデザイン ガイドライン

◆ 基本形の設定

様々な使用状況を想定し、縦形や横形などの複数のデザインパターンを設定する。また、視覚的に統一されることで認知度を高めることから、各デザインにバラつきがないものとする。

縦横比についても基本形にて詳細指定する。

参考図 1



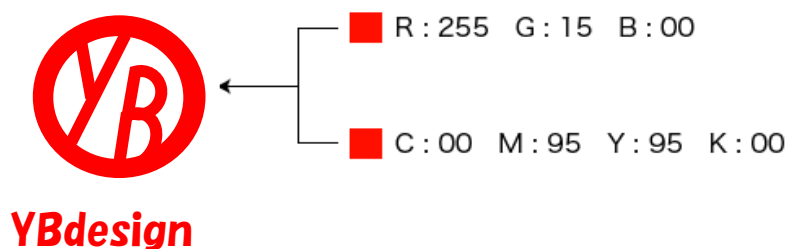
◆ ロゴの表示色とカラーバリエーションの設定

表示される媒体によってロゴカラーの色味は変化するため、CMYK、RGB、PANTONE、DIC カラーの各番号、数値を使い、詳細に設定する。(参考図 2)

モノクロで表示される場合も考慮し、いくつかのパターンを設定する。

また、ロゴ自体の色パターンの他に、背景色を考慮したカラーバリエーションパターンも合わせて設定する。(参考図 3)

参考図 2



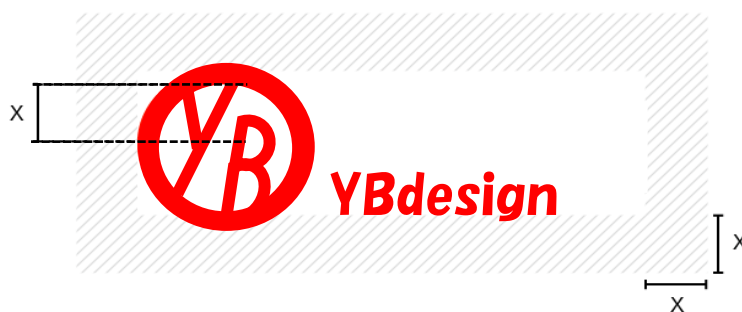
参考図 3



◆ 余白（アイソレーションエリア）の設定

ロゴデザインが他の表示要素に紛れ、印象を損なわないためのエリアとし、識別性や独立性を保持する。デザイン要素を正しく認識できるように周囲に一定の余白を確保し、そのスペース内に他の図形等の要素が入らないように詳細な数値を設定する。

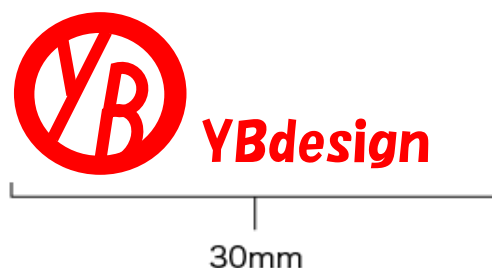
参考図 4



◆ 最小使用サイズの設定

印刷物等でロゴデザインを使用し表示する際、最小使用サイズ以下のサイズ表示をすると細部がつぶれ、再現性や美しさを欠く恐れがあるため、最小使用サイズを設定する。

参考図 5



◆ 禁止事項の設定

ロゴデザインを正しく表示するための使用禁止例を設定する。形状を変更したり、アイソレーションエリアを守らずに表示を行うことその他、写真背景を禁止する等、施設のイメージに沿わない使用方法を予め想定し、ロゴデザインと施設イメージを守る。(参考図 6)

参考図 6

